平成29年度第3学年　学年通信
『自立と協調～そして感謝と思いやり』

Boys and girls, be
Ambitious

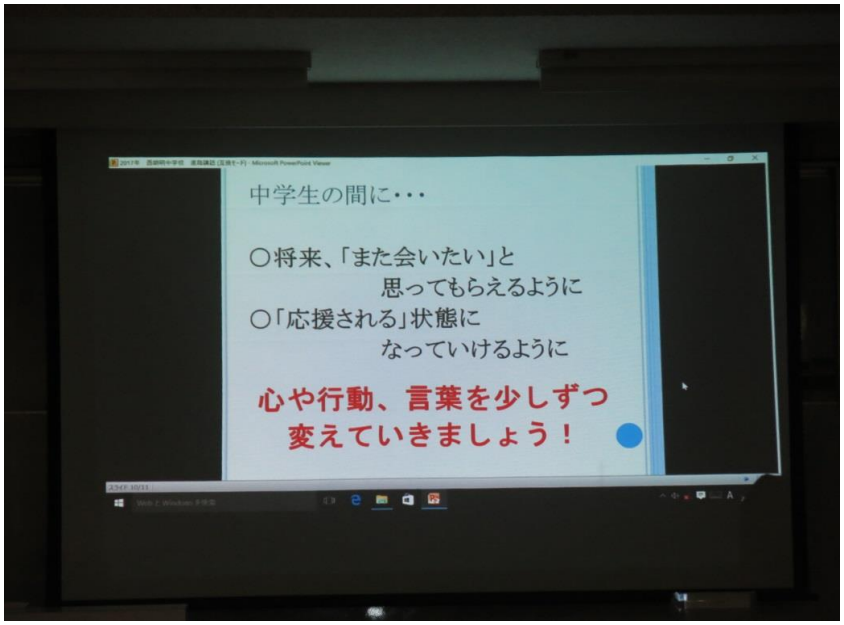
第14号（通算101号）
7月　10日

キャリア学習の一環、高校の先生から学ぶ（第2回）

7月7日（金）6限目、朝明高校の渡部明先生をお招きし、進路に関わるお話をしていただきました。この「高校の先生から学ぶ」取り組みは、四日市高校の加藤拓也先生につづいて2回目です。まるで、三岐鉄道の下り電車に乗っているかのようですが、加藤先生は信泉先生の伝手（教え子）、今回の渡部先生は順子先生の伝手でお願いしました。

渡部先生は、打田先生より少し年上ですが、若々しいフレッシュマンです。担当教科は理科（3年を教えている）ですが、進路指導部に籍を置いているので、現在担任はもっていないとのことでした。

先生には、「よりよい社会人になるために・・・」という話をしていただきました。アイス・ブレーイキングとして、「立ってコミュニケーション」を入れてから、本題に入りましたが、ユーモアたっぷり、ソフトな語り口で、とても分かりやすく、最後まで生徒の興味をひきつけて離しませんでした。話の要点は　↓　これでした。



生徒の感想を一部抜粋して紹介します。

●私は大学を卒業して、専門学校に行きたいので勉強をすごくがんばろうと思いました。

●渡部先生のおかげでいろんなことを考えることができたし、みんなの考えも知れました。これから自分の将来について考えることも多くなると思うのでよかったです。

●お話がすごくおもしろくて、誰も寝ていなかったのがすごい！と思いました。ありがとうございました。

●社会に出るためのことがわかりました。もうすぐ受験なので、将来について考えようと思いました。社会に出るとき必要な、挨拶や笑顔で話すことなどができるように、今から頑張ろうと思います。

多くの生徒の感想から、渡部先生に来ていただき、話をしていただいて本当によかったと思いました。